

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|-------------------------------------|---------|-------------------|
| 事業所番号 | 4071201000 | | |
| 法人名 | 医療法人 海洋会 | | |
| 事業所名 | グループホームほんわかハウス新館 | | |
| 所在地 | 福岡市西区今宿青木792-4 (電話) 092-805-8800 | | |
| 自己評価作成日 | 平成 27 年 8 月 3 日 | 評価結果確定日 | 平成 27 年 11 月 26 日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入居者様お1人お1人の個性を尊重し、その方のペースに合わせたケアを行っております。外出活動においても、ドライブや散歩等は予定を立てずに天気の良い時にその日その日で行い、又、同法人内のグループホームと共同し、あじさいツアー、野球観戦など開催しております。施設に関しましても、8:30~17:30までは開錠し、いつでも外に出れる環境を作っております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/ |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | | | |
|-------|-------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 福岡県春日市原町3-1-7 | | |
| 訪問調査日 | 平成 27 年 9 月 18 日 | | |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

国道202号と西九州自動車道沿いに、住宅街に位置する2階建ての一軒家である。法人内には介護老人保健施設・グループホーム・小規模多機能施設があり、施設同士の交流の機会がある。事業所の理念に基づき、ゆっくり・楽しく暮らすことができる、利用者の能力が最大限に生かすことができるように生活の支援をしている。ドライブや散歩の機会をつくり、地域や馴染みの人との結びつきを継続できるようにしている。

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|---------------------|----|---|---|--|--|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 【1 理念に基づく運営】 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 管理者と職員は理念を共有し、理念に基づいたケアが実践できるよう話し合いの場を設け、日々取り組んでいる。玄関内に理念を閲覧出来るようにし、常に意識する事を心掛けている。 | 施設独自の理念が具体的な内容で、地域密着の視点を含み5項目ある。利用者のペースに合わせて声掛けや介護を行い、理念の実践に取り組んでいる。理念について職員間で話し合う機会を随時つくっている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 散歩時には、ご近所の方と声を交わしている。近所に出来たカフェに入居者の方と行っている。敬老会や夏祭り、餅つき、伊都キリスト教会の人を招いての歌の会を実施しており、年に6回は地域交流会を開き、町内会長や施設の方と情報交換している。地域の夏祭りや買い物を行っている。 | 町内会に加入しており、地域の清掃活動や夏祭りに参加している。法人内の老健の夏祭りに参加し、保育園児とふれあう機会がある。近くのキリスト教会の人が歌を歌いに来られたり、近所の人がいちじくや手作りのマスコット人形を持参され、近所の人との交流がある。 | |
| 3 | — | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 年6回地域交流会を設けて現状等を共有している。地域交流会を通じて、入居者様の状況を報告し、又、地域で出来る事はないか話し合っている。 | / | / |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2か月に1度運営推進会議を開催している。ホームでの活動内容や現状報告、意見交換を行い、サービスの向上に取り組んでいる。 | 運営推進会議は2か月に1回開催している。利用者家族・行政職員・地域住民以外に地域にある他法人の小規模多機能施設職員も参加している。利用者やサービス内容の報告を行い、行事や催し物について等意見をもらっている。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 地域包括センターや、福岡市の職員とも連絡をとり、報告や相談をしている。 | 市役所や地域包括支援センターには相談や報告で連絡する機会がある。以前は公民館でふれあいサロンをしていたことがある。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 日中玄関の施錠はしておらず、利用者の方は自由に入出入りできるようにしている。全職員、身体拘束について理解しており、拘束をしないケアの実践をしている。年に1度勉強会も行っている。 | 玄関・居室は日中は施錠していない。玄関にチャイムはある。外出傾向がある利用者は、本人の外出傾向を把握し他ユニットと連携しながら、見守りや付添を行っている。本人希望でサイドレールでベッドを取り囲む事例がある。身体拘束の内部研修は年1回行っており、全員参加をしている。 | ベッド柵を囲むことの悪循環を考え、本人と共に検討し、囲む以外の方法を実践してほしい。 |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|---|---|--|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | — | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | ストレス軽減の為、職員同士話をしたり、適度に休みを取っている。年に1度勉強会を開き、虐待防止に努めている。入浴時に個々の体の痛み等も確認し、早期発見に努めている。 | | |
| 8 | 6 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 内部研修を行ったり、資料を回覧し、勉強会を行い、職員全員の理解に努めている。 | 権利擁護制度に関して、契約時と必要に応じて家族に説明をしている。成年後見人制度について研修が年1回あり全職員参加している。昨年は講師を呼んで内部研修を行っている。 | |
| 9 | — | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には利用者、ご家族様の不安がないように十分な説明を行い、理解・納得をして頂いている。後日分からない事があれば、いつでも相談に乗っている。 | | |
| 10 | 7 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 利用者やご家族が意見・要望を言いやすい環境にする為、普段から細目にコミュニケーションを計り、信頼関係を築けるようにしている。来訪時に要望・苦情等を窺ったり、家族会でも意見交換をして報告を行っている。 | 日頃から声かけを細やかに行い、利用者や職員の思いや要望を引き出せるように心がけている。利用者が食べたい物を選んでもらう、行きたい場所や買い物に行く、等利用者や家族の意見が反映できるようにしている。 | |
| 11 | 8 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 常日頃より職員間同士話し合う時間がある。提案をしている。時間があいた時に運営面についての説明を行っている。 | 今回の自己評価は、職員全員の意見を出し合って取り組んだ。管理者は常日頃から職員に声かけをして意見を聴いている。記録の場所や業務内容の見直し等職員の意見を取り入れるようにしている。 | |
| 12 | — | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員の要望等も取り入れ、勤務表の作成を行っている。人事考課も行い、賞与に反映している。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------------------------------|----|---|--|--|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | 9 | ○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮していき生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している | 採用にあたり特別な選考等は行っていない。事業所の職員に関しては個々の能力の把握に努め、長所を伸ばせるような支援、指導を行っている。又、職員が意見提案をしやすい環境作りに努めている。配属に関しては、ユニットの状況等を考慮している。 | 採用選考は法人で一括して行っている。特定の理由で、採用対象からはずすことはない。定年は65歳で、希望あれば定年後も仕事ができる。職員のスキルアップや希望で法人内の異動もある。資格所得のため勤務や休みの配慮をしている。 | |
| 14 | 10 | ○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる | 年に一回、外部研修や内部研修を行い人権について学ぶ機会を設けている。 | 全職員は人権に関する内部研修に参加している。人権を大事にしたケアができるよう取り組みを行っている。 | |
| 15 | — | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員の能力や勤務年数に合わせ、キャリアパスや勉強会を取り入れ、知識等、質の向上に取り組んでいる。 | | |
| 16 | — | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 研修等の参加や、訪問して頂き情報交換を行っている。 | | |
| 【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】 | | | | | |
| 17 | — | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご本人の思いに寄り添い傾聴すること、受容と共感の姿勢を大切にしている。入居時に本人、ご家族の協力の基、困っている事や、不安な事をお聞きしケアに努めている。 | | |
| 18 | — | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 御家族の思いを傾聴し、受け止める姿勢を大切にしている。御家族様がいつでも相談できる雰囲気作り、話し易い関係づくりに努めている。又、ご家族様の要望も取り入れアセスメントを行ってケアに活かしている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|---|---|--|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | — | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 御家族・ご本人が困っている事・不安な事を傾聴し、要望に沿った支援に努めている。 | | |
| 20 | — | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 普段より入居者様と共に家事や作業等を行い、助け合いながら生活している。その方の出来る事を見つけて一緒に行っている。出来る力を活かして生活して頂いている。 | | |
| 21 | — | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族来訪時には本人さんの近況報告は勿論、ご本人の気持ちを代弁してご家族に伝える等している。月に1度お便りを出し、近況報告も行っている。電話が出来る方には電話で話して頂いている。 | | |
| 22 | 11 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 長年通っていた美容室で髪をカット出来るよう支援していた。馴染みのある場所へドライブに行っている。 | 利用者の馴染みの人や場所について、職員は本人や家族から聴取して、関係が継続できるように支援している。友人や知人がみえたときに過ごしやすい環境をつくったり、電話を掛ける時の援助をしたりしている。なじみの美容室に行ったり、ドライブの時に利用者の家の側を通るようにしている。 | |
| 23 | — | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 相性も考え、席やドライブの際のグループ分けに配慮している。孤立しない様、何人かで作業を行ったり、その際の席の配慮もしている。 | | |
| 24 | — | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 終了しても関係が途切れない様、いつでも相談出来る事を説明している。又、その後の状況等も連絡している。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------------------------|----|--|---|--|-------------------|
| 自己 | 外部 | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】 | | | | | |
| 25 | 12 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日頃より本人様のしたい事、思いを傾聴している。一人一人の思いが把握できるよう、関わりを多く持ち、常にご本人の様子を観察している。常にご本人の希望を窺いながら介助している。 | 職員は日々の関わりの中で、利用者への声かけを丁寧に行い、希望や意向を把握し、具現化するように努めている。意思疎通が困難な場合は、利用者の表情や行動から真意を推し測ったり、家族や関係者から情報を得ている。本人の希望に沿って、物品の購入やドライブ・外食などを行っている。 | |
| 26 | — | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 御家族、本人様との会話の機会を多く持ち、把握に努めている。御家族やご本人の協力を基にアセスメントを行い把握に努めている。 | | |
| 27 | — | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 生活記録・申し送りを通して職員間で情報を共有している。その方に合った過ごし方等を常日頃職員間で相談し合い、状況の把握に努めている。 | | |
| 28 | 13 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | より良い生活が出来るよう、本人が困っている事を理解し、ご本人・御家族の意思を尊重している。職員間で相談しながら計画を作成している。毎日より良いケアが行われているかケアプランチェックを行い、月に1度評価を行っている。 | 個別的で具体的な介護計画を作成している。日々の関わりで得た本人や家族の意向や希望を記録に残し、計画に反映させている。アセスメントやモニタリングも詳細で具体的である。見直しは6ヶ月毎に行っているが、状況変化に応じてその都度見直ししている。本人・家族から署名・押印をもらっている。 | |
| 29 | — | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子を記録に残し、情報を共有している。記録を共有し、その情報等を基にその方のアセスメントし、介護計画の見直しを行い実践に活かしている。 | | |
| 30 | — | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご本人、ご家族の要望に沿ってケアに活かしている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|---|---|---|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | — | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域資源の把握をし、ご本人様が不快なく、楽しく安全で豊かな暮らしが出来る支援している。 | | |
| 32 | 14 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医の受診支援、2週間に1度行っており、病状により医師より他科受診の勧めがあった時は、ご家族に報告し、適切な医療機関に受診出来るよう支援している。 | 本人や家族の納得するかかりつけ医の受診を支援している。医療連携日報という独自の書式を作成し、医療機関との連携をスムーズに行う工夫をしている。通院介助の方法や情報伝達の方法については、入居時等に話し合いをしている。 | |
| 33 | — | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 体調不良の際は看護師に連絡し、指示を仰いでいる。様子について細目に連絡を取り合っている。服薬についても連携し相談している。受診の調整も行っている。 | | |
| 34 | — | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 入院時には細目に病院へ連絡又は、訪問し、調子を窺い看護師や相談員、主治医と退院の日程、今後の予定の話をしている。 | | |
| 35 | 15 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時にも要望を窺い要望書を作成し、ご本人、家族への了解を得ている。又、重度化した場合には、その都度要望を窺い、希望に沿う様努力している。 | 重度化や終末期のあり方について、事業所の対応方針があり明文化している。本人や家族の要望を記載する「要望書」を作成している。利用開始時や折に触れて家族への説明を行い、関係者全員で方針を共有している。状況変化に応じて話し合いも行っている。 | |
| 36 | — | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 各自マニュアルを読み、理解している。不安な事、分からない事は何回も確認をするようにしている。年に一度緊急時の勉強会を行っている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|----|--|--|--|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37 | 16 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年に二回消防訓練を実施し、消防署立ち合い、地域の方とも交流をしている。ほぼ毎日防災訓練の勉強をしている。小規模避難訓練を出来る時に行っている。 | マニュアルを作成し、年2回の避難訓練を行っている。それ以外にも小規模の避難訓練や防災訓練を頻繁に行っている。消防署の協力や地域住民に呼びかけもしている。非常用備品も準備し、事業所内に保管している。 | |
| 【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】 | | | | | |
| 38 | 17 | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 入浴・排泄等の際にはカーテン、タオル等を使用し、プライバシー保護に努めご本人が気分を害されないような声掛け、対応を心掛けている。記録、個人情報の管理には注意を払っている。 | 利用者に対する職員の言葉かけや対応は優しく温かみがある。特に入浴や排泄の際は、プライバシーに配慮した声かけや対応に努めている。記録や個人情報の管理は徹底していて、内部研修により職員の意識向上を図っている。 | |
| 39 | — | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 出来る限りご本人の意思を大事にして頂く為、洋服を選んで頂いたり自己決定の場を設ける様、声掛けにも工夫している。 | | |
| 40 | — | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 「眠たい」と言われる方は時間をずらして起床して頂いている。「お腹が空いていない」と言われる方には食事時間をずらしたり、ご本人が食べたいものを提供している。一人一人にあった環境作り、自己決定を大事にしている。 | | |
| 41 | — | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 起床時、外出時の洋服選び、お化粧を希望される方には支援している。 | | |
| 42 | 18 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 旬の食材を取り入れて献立を立てている。個人の好き嫌いを把握し、嫌いな物の時は別の物を提供している。盛り付けや、食事作りもして頂いている。個別に食事形態を考え提供している。お弁当の際には何か食べたい物をお聞きしている。 | 準備や片付けができる利用者は職員と共にしている。食事介助が必要な利用者が多いため、職員と利用者が一緒に食事をするのは難しいが、声かけを行い、楽しく食事ができる雰囲気づくりを大切にしている。個人の嗜好に配慮し、旬の食材を取り入れている。イベントや行事食の工夫もある。 | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|---|--|---|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | — | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎日の食事量を記録している。召し上がられない時は補助食を提供している。お茶を飲まれない方にはゼリーで提供している。嫌いな物がある時は他の物を提供したり、その方に合った食事量も調整している。 | | |
| 44 | — | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | その方に合わせて口腔ケアの支援を行っている。ケアプランチェック表に○×を記入し、忘れがない様にしている。ご家族やご本人の要望により週に1度かかりつけの歯科に診て頂いている。 | | |
| 45 | 19 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 一人一人排泄のパターンを把握し、トイレの声掛けを行っている。立位が困難な方はご本人の負担にならない様、職員二人介助で支援している。体調にも配慮しながらトイレでの自立支援を行っている。足の悪い方にも出来る限りトイレに座って頂いている。 | 一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけや介助を行っている。本人が負担にならない形で介助できるように配慮している。尿意のない利用者の場合は時間を見計らって誘導している。おむつやパット類も使用しているが、できる限りトイレで排泄できるように支援している。 | |
| 46 | — | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 薬の副作用が原因となる事があるので、薬についても確認を行っている。ご本人にお腹の不快は無いか窺い、必要に応じて薬を服用してもらっている。便秘気味の方には個別にヤクルト・ヨーグルトも提供している。野菜を多く取り入れたメニューも考えている。 | | |
| 47 | 20 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった入浴の支援をしている | 体調に配慮しながら入浴して頂いている。ご本人の要望に合わせて入浴して頂いている。 | 本人の希望にあわせて入浴支援を行っている。入浴が好きな利用者は毎日入っている。拒否する利用者に対しては、言葉かけを工夫したり、対応する職員を変更して、無理なく入浴が楽しめるように支援している。 | |
| 48 | — | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 夜間安眠出来るよう、日中の活動を出るだけでもつようにしている。（新聞、洗濯たたみ、タオル巻等）又、その方の状況に合わせて、昼間でも横になって頂いている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|--|--|---|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | — | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | その方の薬の内容を把握し、正しく服用出来るよう支援している。週に一度薬剤師の訪問にて居宅療養管理指導を受け、薬の用法、作用等更に理解出来ている。薬が変わった際には主治医へもその後の変化を報告している。 | | |
| 50 | — | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 生活歴や力を活かした役割、楽しみごとや気分転換できる事など支援している。入居時に生活歴等をお聞きし、それを参考にケアに活かし、又、半年に一度アセスメントを行いその方に合ったケアを実践している。 | | |
| 51 | 21 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ドライブ、散歩、買い物、外食に出掛ける機会を作り、支援している。 | 利用者一人一人の希望に沿って、散歩・外出・買い物・ドライブを頻回に行っている。野球や相撲観戦、季節の花見、遠足のショッピング等も行っている。 | |
| 52 | — | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 立替えて欲しい物や必要な物は購入して頂いている。お財布を預かっている方には確認等の説明をしている。 | | |
| 53 | — | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望をされる時は、電話でお話出来るよう支援している。2か月に一度写真を付けたお便りをご家族へ送付し、近況もお伝えしている。 | | |
| 54 | 22 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関に季節の花を飾っている。季節を感じて頂ける様飾り付けをしている。和室等に入居者の方と一緒に作成した貼り絵等を掲載し季節を感じて頂いている。入居者様が不快に思わない生活空間作りに配慮している。 | 季節の花を飾り、暖かみがある利用者と共に作成した貼り絵や、近所の方が持ってきて下さった手作りの小物などが飾られ、和やかな雰囲気である。音の大きさや光の強さも配慮している。廊下にはソファや椅子を配置し、一人でゆっくり過ごすこともできる。 | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|---|--|---|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 55 | — | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 居心地良く過ごせるよう、席の配置を考えている。テレビに背を向けた席におられる方はテレビ体操をして頂く際、椅子を回転させて観て頂いている。廊下に椅子やソファを設置し、休んで頂いている。リビングでテレビを観たい方には自由にチャンネルを変えて頂いている。 | | |
| 56 | 23 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 安全に動けるよう配置を考えている。御家族の写真や好きなポスター等を飾ってもらっている。歩行し易いようにその方に合ったベットに配置を検討している。入居時にその方の馴染みの物を持ってきていただいている。 | 利用者が長年使用していた馴染みの家具を持ち込み、家族写真や好きな野球選手のポスターを飾っている。人形やぬいぐるみ、思い出の品等を飾り、利用者の個性が感じられる居室である。 | |
| 57 | — | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 廊下には手すり等も配置しており、居室内でも手すりが必要な方は配備している。日付も分かるように大きくリビングに設置している。 | | |

| 項目番号 | | 項 目 | 取 り 組 み の 成 果 | |
|---------------------------------|----|---|------------------|--------------|
| 自己 | 外部 | | (該当する箇所を○印で囲むこと) | |
| V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） | | | | |
| 58 | — | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：25, 26, 27) | ○ | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | | ②利用者の2／3くらいの |
| | | | | ③利用者の1／3くらいの |
| | | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 59 | — | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：20, 40) | ○ | ①毎日ある |
| | | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | | ③たまにある |
| | | | | ④ほとんどない |
| 60 | — | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：40) | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | | ②利用者の2／3くらいが |
| | | | | ③利用者の1／3くらいが |
| | | | | ④ほとんどいない |
| 61 | — | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：38, 39) | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | | ②利用者の2／3くらいが |
| | | | | ③利用者の1／3くらいが |
| | | | | ④ほとんどいない |
| 62 | — | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：51) | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | | ②利用者の2／3くらいが |
| | | | | ③利用者の1／3くらいが |
| | | | | ④ほとんどいない |
| 63 | — | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：32, 33) | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | | ②利用者の2／3くらいが |
| | | | | ③利用者の1／3くらいが |
| | | | | ④ほとんどいない |
| 64 | — | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：30) | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | | ②利用者の2／3くらいが |
| | | | | ③利用者の1／3くらいが |
| | | | | ④ほとんど掴んでいない |

| 項目番号 | | 項 目 | 取 り 組 み の 成 果 | |
|---------------------------------|----|--|------------------|---------------|
| 自己 | 外部 | | (該当する箇所を○印で囲むこと) | |
| V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） | | | | |
| 65 | — | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 21) | ○ | ① ほぼ全ての家族と |
| | | | | ② 家族の2/3くらいと |
| | | | | ③ 家族の1/3くらいと |
| | | | | ④ ほとんどできていない |
| 66 | — | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 22) | | ① ほぼ毎日のようにある |
| | | | | ② 数日に1回程度ある |
| | | | ○ | ③ たまにある |
| | | | | ④ ほとんどない |
| 67 | — | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | ① 大いに増えている |
| | | | | ② 少しずつ増えている |
| | | | ○ | ③ あまり増えていない |
| | | | | ④ 全くいない |
| 68 | — | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | ① ほぼ全ての職員が |
| | | | | ② 職員の2/3くらいが |
| | | | | ③ 職員の1/3くらいが |
| | | | | ④ ほとんどいない |
| 69 | — | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | ① ほぼ全ての利用者が |
| | | | ○ | ② 利用者の2/3くらいが |
| | | | | ③ 利用者の1/3くらいが |
| | | | | ④ ほとんどいない |
| 70 | — | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | ① ほぼ全ての家族等が |
| | | | ○ | ② 家族等の2/3くらいが |
| | | | | ③ 家族等の1/3くらいが |
| | | | | ④ ほとんどいない |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|---------------------|----|---|---|------|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 【I 理念に基づく運営】 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 勉強会で理念等の認識を行い実践に繋げている。又運営規定を置きスタッフがいつでも見ることができるようにしている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している | 地域の清掃に参加している又、町内会にも加入し当番制にも参加している。 | | |
| 3 | — | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議のお誘いや地域の方からの相談等行っている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2か月に1回行っている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 地域交流会への参加を町内会長、老人会長、ボランティア、家族、包括支援センター等へ促しハウスでの生活実情や取組みを説明している。 | | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ご本人様の意思を伺い行動を共にしたり寄り添うことにより安心感を持って頂いている。その為日中の玄関の施錠はしていない。いつでも外に出られるよう環境作りしている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|---|--|------|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | — | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている | 勉強会を行い虐待について学び職員間で相談を行うなどして防止に努めている。 | | |
| 8 | 6 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 権利擁護に関する制度について職員間で理解して頂く為に、資料を回覧出来るよう設けている。契約の際、ご家族に説明させて頂いている。グループホーム内で勉強会を行い、スタッフが学ぶ場を設けている。 | | |
| 9 | — | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居前に十分な説明を行い納得されてから入居の手続きを行っている。 | | |
| 10 | 7 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族来訪時に尋ねられたことも職員間で申し送り行っている。又、家族会を設け意見交換を実施している。 | | |
| 11 | 8 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 業務ケア、運営面においても普段から実践出来ている。 | | |
| 12 | — | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 年2回人事考課を行い自己評価を行っている。課題や目標を立て向上心を強めている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------------------------------|----|---|--|------|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | 9 | ○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮していき生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している | 採用にあたり、特別な選考等は行っていない。事業所の職員においては、個々の能力の把握に努め、長所を伸ばせるような指導・支援を行っている。ユニットのバランス・状況を踏まえ行い、人事の異動も必要に応じて行っている。 | | |
| 14 | 10 | ○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる | 人権教育・啓発活動等も講習会に参加し、職場内での勉強会も行っている。資料の回覧やミーティング等で全職員にフィードバックしている。 | | |
| 15 | — | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 勉強会を行いケアの質の向上に努めている。又、外部研修に参加しフィードバックしながら職員のケア等の向上に努めている。その都度、注意、その促しを行い教育実践出来ている。 | | |
| 16 | — | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 研修等で情報交換等行っている。 | | |
| 【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】 | | | | | |
| 17 | — | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居時、不安になられておられる時は様子、言葉、話しの中より不安を聞き取り少しでも安心できる環境や関係づくりに努めている。 | | |
| 18 | — | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 来訪時に様子の報告を行い、ご家族のお話を伺うなどより良い関係づくりに努めている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|--|---|------|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | — | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人や家族の意向、要望、思いを聞き入れアセスメントを作成しケアプランを作っている。 | | |
| 20 | — | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 一緒に買い物に行ったり食事の準備、作業を行ったりしている。他入居者様とレクを楽しんで頂いている。又、季節の行事にも出かけている。 | | |
| 21 | — | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 来訪時された際は必ずご家族様との談話を大切にしている。月に1回写真を添え日頃の様子等を手紙にて報告行っている。 | | |
| 22 | 11 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 個別支援として、行きたい場所、会いたい人に合えるよう同行している。御家族に相談し協力得て、本人が行きたい場所には同行し、会えない時には、電話を掛けたり、掛けて頂いたりしている。来訪時、意思疎通が困難な場合、スタッフが同席している。 | | |
| 23 | — | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 各自にあった作業（洗濯干し、たたみ、野菜切り、皮剥き）など皆で助け合う様に努めている。 | | |
| 24 | — | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約が切れても相談など受けている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|-------------------------------------|----|--|---|------|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】 | | | | | |
| 25 | 12 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 否定せず、まず傾聴し一人ひとりが満足出来る様、努めている。又、日々のご本人との会話を行うことにより希望や意見を聴けるように努めている。 | | |
| 26 | — | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 御家族やご本人との会話の中より、これまでの暮らし方や生活環境、好みなどをお尋ねし把握に努めている。 | | |
| 27 | — | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の様子や心身の状態を個人記録に残している。毎朝、血圧、検温行い状態把握に努めている。又、睡眠、排泄、食事量のチェック表を作成し記録に残している。 | | |
| 28 | 13 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人がより良く生活出来るように課題とケアの在り方についてご本人、家族、必要な関係者と密に情報を交換し、現状に即した介護計画を作成している。半年に一度見直ししている。 | | |
| 29 | — | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ケアプランチェック表や記録に記入し気づきや工夫を見直しに活かしている。 | | |
| 30 | — | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 現在の介護計画にとらわれず、その都度生まれるご家族、ご本人の希望、課題に対応し、柔軟な支援やサービスに取り組んでいる。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|---|---|------|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | — | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域交流会を通して、その資源を把握しながら、ご本人が参加でき豊かな生活が出来るよう支援している。 | | |
| 32 | 14 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 受診、往診時に近状の状態等の報告を行っている。又、医療連携日報に日々の状態を記入しドクター、ナースとの連携を図っている。状態に変化がみられた際は、その都度、報告を行っている。 | | |
| 33 | — | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 受診日以外の時も状態の変化が見られた時は報告し指示をあおいでいる。 | | |
| 34 | — | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | ご本人が安心して治療できるように病院と密に連絡をとる事に努めている。救急搬送に関する意思確認書を作成し家族の要望を伺っている。 | | |
| 35 | 15 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ご本人の状態の変化（重度化）時にご家族とドクター、職員とでお話しをし終末期におけるケアも意向に添って行っている。 | | |
| 36 | — | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | スタッフは急変や事故に備え勉強会、研修に参加している。又、対応マニュアルを作成し備えている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|----|--|---|------|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37 | 16 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年に2回消防訓練を行い地域の方々にも参加して頂き気付きやアドバイスを貰っている。又、年に1回は消防署員の立ち合いのもと行っている。 | | |
| 【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】 | | | | | |
| 38 | 17 | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ご本人の誇りやプライバシーを損なわないような声掛けやケアを行っている。（自分におきかえて自分がされた場合など考えてケアを行っている） | | |
| 39 | — | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 入居者の方の理解力に応じて、短い言葉や動作での声掛けを心掛けている。又、2～3の選択肢の中から選んで頂くような工夫をしている。 | | |
| 40 | — | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本人の体調や様子をみながら、その方のペースにて過ごして頂いている。又、ご本人より希望があれば出来るだけ希望に添った支援を行っている。 | | |
| 41 | — | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 要望がある時は、希望の美容室へ行って頂いている。以外の方は、二ヶ月に一回訪問美容室を利用して頂いている。何を着たいか伺ったり、洋服を見て選んで頂いている。 | | |
| 42 | 18 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 日々の会話の中やテレビ等にて観る季節にそったものや好みの物など献立に入れるなどして食べて頂いている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|--|---|------|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | — | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの状態により食事、水分の形状を変えるなどして提供している。きざみ食、ペースト食など、又、水分はその方の様子にてトロミ剤を使用したりゼリーにして摂って頂いている。 | | |
| 44 | — | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後、就寝前に口腔ケアを行っている。又、歯科往診にて診て頂いている。 | | |
| 45 | 19 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄表を確認しご本人よりトイレの訴えがみられない時は声掛け行い誘導を行っている。トイレの訴えがなくても落ち着かれない様子がみられる時もトイレ誘導を行っている。 | | |
| 46 | — | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | こまめに水分を摂って頂きテレビ体操などに参加していただいている。 | | |
| 47 | 20 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった入浴の支援をしている | ご本人の希望に添って入浴して頂いている。又、状態や様子により洗髪、洗身などの介助や一部介助を行っている。 | | |
| 48 | — | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 夜間の睡眠状態などにより声掛け行ったり覚醒を促している。夜間の巡視時、呼吸、室温確認行い調節している。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|--|--|------|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | — | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方箋はスタッフが管理し、受診や往診時、確認し情報を共有している。薬変更時や状態に変化があった時は、一日数回のバイタルチェックを行い、身体観察している。服薬が困難、拒否がある方には、医師の指示のもと薬を潰したり、蜂蜜を混ぜて提供している。月に二度居宅療養管理指導を行ってもらっている。 | | |
| 50 | — | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 生活歴やバックグラウンドを把握し、その方の有する能力に合わせた役割を見つけ支援している。一緒に家事、買い物、ドライブ等入居者様が生活を楽しめるよう支援している。 | | |
| 51 | 21 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 入居者様に希望を伺ったり、声掛けして散歩、買い物、ドライブ等の支援を行っている。買い物は入居者様と一緒にいくよう心がけ、商品を選んで頂いている。季節行事を踏まえて、桜見物、野球観戦、祭り等で外出した時には、途中で食事、おやつを食べて楽しんで頂いている。 | | |
| 52 | — | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 今現在、現金を持たれている入居者様はいない。外出時必要な時は、お渡ししている。会計時は見守りし、金額や残金の確認を行い、出納帳に記入し、レシートを貼っている。御家族にもレシートのコピーをお渡ししている。 | | |
| 53 | — | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話は、自由に使用出来る所に設置している。「電話をしたい」と、希望があれば受話器をお渡しし、「掛けて欲しい」と言われた時は、代理で話をしたりしている。又、手紙を書く方には、スタッフがハガキを購入し投函する。 | | |
| 54 | 22 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節の花や装飾を飾り、廊下に歌や写真等を飾っている。テレビの音や、スタッフの声、風、光、温度の調節を常に行い、生活しやすい環境作りに努めている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 | |
|------|----|---|---|------|-------------------|
| 自己 | 外部 | | | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 55 | — | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 席の配置は、入居者同士の相性等考慮して決めている。ソファにて歌を歌われたりもされる。一人になりたい方には見守りを行うが、孤独にならないよう声掛けをしている。廊下や玄関にも椅子があり、好きな場所で過ごせるようにしている。 | | |
| 56 | 23 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居の際に、ご本人が使い慣れた物、タンス、思い出の品等を持って来て頂き、安心出来る生活空間になるようにしている。動線にも配慮しながら、物を置き、採光や空調管理、生活音などにも考慮し、居心地が良い空間を作っている。 | | |
| 57 | — | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 廊下、トイレ、浴室は手すりを付け、車イスの方が通りやすいよう通路を広くし、身体機能を配慮し座りやすい席について頂いている。足元に物を置かないよう安全かつ、自立した生活が送れるよう努めている。 | | |

| 項目番号 | | 項 目 | 取 り 組 み の 成 果 | |
|---------------------------------|----|---|------------------|--------------|
| 自己 | 外部 | | (該当する箇所を○印で囲むこと) | |
| V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） | | | | |
| 58 | — | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：25, 26, 27) | ○ | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | | ②利用者の2／3くらいの |
| | | | | ③利用者の1／3くらいの |
| | | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 59 | — | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：20, 40) | ○ | ①毎日ある |
| | | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | | ③たまにある |
| | | | | ④ほとんどない |
| 60 | — | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：40) | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | | ②利用者の2／3くらいが |
| | | | | ③利用者の1／3くらいが |
| | | | | ④ほとんどいない |
| 61 | — | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：38, 39) | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | | ②利用者の2／3くらいが |
| | | | | ③利用者の1／3くらいが |
| | | | | ④ほとんどいない |
| 62 | — | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：51) | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | | ②利用者の2／3くらいが |
| | | | | ③利用者の1／3くらいが |
| | | | | ④ほとんどいない |
| 63 | — | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：32, 33) | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | | ②利用者の2／3くらいが |
| | | | | ③利用者の1／3くらいが |
| | | | | ④ほとんどいない |
| 64 | — | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：30) | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | | ②利用者の2／3くらいが |
| | | | | ③利用者の1／3くらいが |
| | | | | ④ほとんど掴んでいない |

| 項目番号 | | 項 目 | 取 り 組 み の 成 果 | |
|---------------------------------|----|--|------------------|---------------|
| 自己 | 外部 | | (該当する箇所を○印で囲むこと) | |
| V サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） | | | | |
| 65 | — | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 21) | ○ | ① ほぼ全ての家族と |
| | | | | ② 家族の2／3くらいと |
| | | | | ③ 家族の1／3くらいと |
| | | | | ④ ほとんどできていない |
| 66 | — | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 22) | | ① ほぼ毎日のようにある |
| | | | ○ | ② 数日に1回程度ある |
| | | | | ③ たまにある |
| | | | | ④ ほとんどない |
| 67 | — | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | ① 大いに増えている |
| | | | | ② 少しずつ増えている |
| | | | ○ | ③ あまり増えていない |
| | | | | ④ 全くいない |
| 68 | — | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | ① ほぼ全ての職員が |
| | | | | ② 職員の2／3くらいが |
| | | | | ③ 職員の1／3くらいが |
| | | | | ④ ほとんどいない |
| 69 | — | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | ① ほぼ全ての利用者が |
| | | | ○ | ② 利用者の2／3くらいが |
| | | | | ③ 利用者の1／3くらいが |
| | | | | ④ ほとんどいない |
| 70 | — | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | ① ほぼ全ての家族等が |
| | | | ○ | ② 家族等の2／3くらいが |
| | | | | ③ 家族等の1／3くらいが |
| | | | | ④ ほとんどいない |